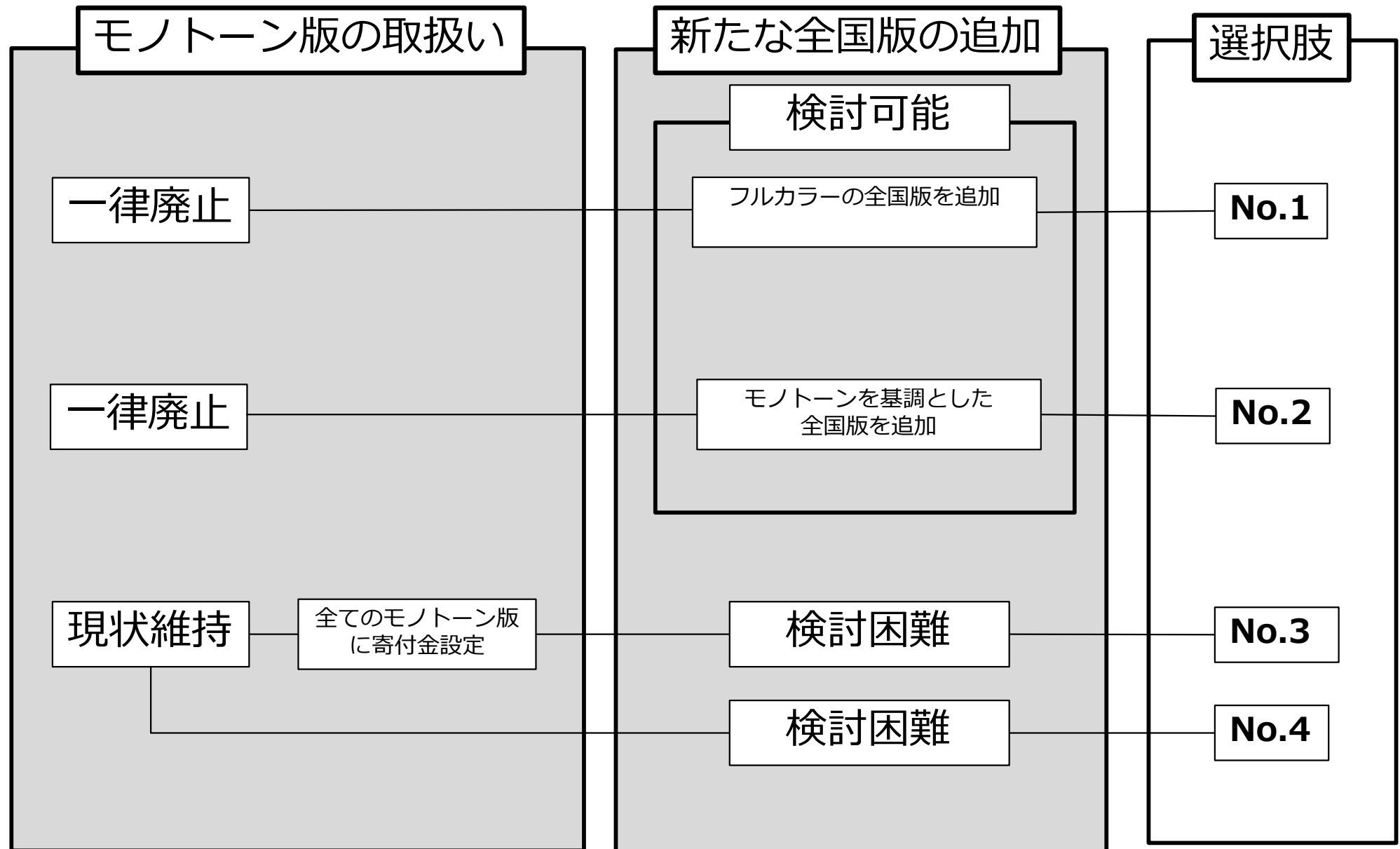


資料 3

今後の全国版図柄入りナンバープレート 及びモノトーン版ナンバープレートの取 扱いについて



モノトーン廃止等に関する選択肢としては以下が想定される。

No	選択肢	選択肢のイメージ
1	- モノトーンを一律廃止 - フルカラーの全国版を新たに導入	あり 寄付金 <全国版フルカラー> 品川599 さ 20-46 <地方版フルカラー> 秋田599 さ 20-46 <新全国版図柄> フルカラー <全国版モノトーン> 品川599 さ 20-46 廃止 <地方版モノトーン> 秋田599 さ 20-46 廃止
2	- モノトーンを一律廃止 - モノトーン基調の全国版を新たに導入	あり 寄付金 <全国版フルカラー> 品川599 さ 20-46 <地方版フルカラー> 秋田599 さ 20-46 <新全国版図柄> モノトーン基調 <全国版モノトーン> 品川599 さ 20-46 廃止 <地方版モノトーン> 秋田599 さ 20-46 廃止
3	地方版・全国版ともモノトーンを残し、寄付金を設定	あり 寄付金 <全国版フルカラー> 品川599 さ 20-46 <地方版フルカラー> 秋田599 さ 20-46 <新全国版図柄> なし <全国版モノトーン> 品川599 さ 20-46 <地方版モノトーン> 秋田599 さ 20-46
4	現行制度のまま継続	あり 寄付金 <全国版フルカラー> 品川599 さ 20-46 <地方版フルカラー> 秋田599 さ 20-46 <新全国版図柄> なし <全国版モノトーン> 品川599 さ 20-46 <地方版モノトーン> 秋田599 さ 20-46

アンケート調査の結果を踏まえた、モノトーン廃止等に関する寄付金額への影響としては以下が想定される。

No	メリット	デメリット	年間寄付金額の試算	
1	○新たな全国版フルカラーの選択肢が増える。 ○供給サイドの負担を軽減。 ○モノトーンユーザーの多く（アンケートによると7割）が寄付金ありのフルカラーを選択することが想定され、寄付金が増加する見込み。	○一定ニーズのあるモノトーンを選択できなくなる。	地方版	約1.7億円（+約0.8億円）
			全国版	約3.2億円（+約2.1億円） プラスα
			合計	約4.9億円（+約2.9億円） プラスα
2	○新たなモノトーンの選択肢が増える。 ○供給サイドの負担を軽減。 ○モノトーンユーザーの多く（アンケート調査によると9割）が寄付金ありのモノトーン基調の全国版またはフルカラーの図柄を選択することで、寄付金が増加する見込み。	○ユーザーは地方版図柄のモノトーンを選択することができない。	地方版	約1.2億円（+約0.3億円）
			全国版	約4.5億円（+約3.4億円） プラスα
			合計	約5.7億円（+約3.7億円） プラスα
3	○ユーザーは引き続きモノトーンを選択可能。 ○モノトーンユーザーの多く（アンケート調査によると9割）が寄付金ありのフルカラーまたは寄付金ありのモノトーンを選択することが想定され、寄付金が増加する見込み。	○ユーザーはモノトーン選択において、寄付金1,000円以上が必須となる。 ○供給サイドの負担を一切軽減できない。	地方版	約1.9億円（+約1.0億円）
			全国版	約3.8億円（+約2.7億円）
			合計	約5.7億円（+約3.7億円）
4	○ユーザーは引き続きモノトーンを選択可能。	○モノトーンユーザーから寄付金は集まらない。 ○供給サイドの負担を一切軽減できない。	地方版	約0.9億円
			全国版	約1.1億円
			合計	約2.0億円

注1：1申込当たりの寄付金額は1,000円で計算

注2：年間寄付金額の試算について、特別仕様版は時限交付のため試算の対象外としている。